

2024年度 第1四半期 決算説明

2024年7月25日
日野自動車株式会社

24年度 第1四半期 決算トピックス

販売台数

グローバル販売台数

29,015台

前年同期比 ▲7.4%

- 国内) 9,988台 <+9.6%>
A09Cエンジン搭載車の供給正常化により大型トラックの販売増
- 海外) 19,027台 <▲14.4%>
タイを中心としたアジア経済の鈍化により販売減

営業利益

64億円

前年同期比 5.6倍

- 海外台数減も、国内大型トラック台数増、為替円安により増益

当期純利益

▲2億円

前年同期比 +163億円

- 国内認証関連損失：▲5億円(前年同期比+126億円)
- 保有株式の売却益：48億円(同 +48億円)
- 海外の潜在債務：当局による調査継続中

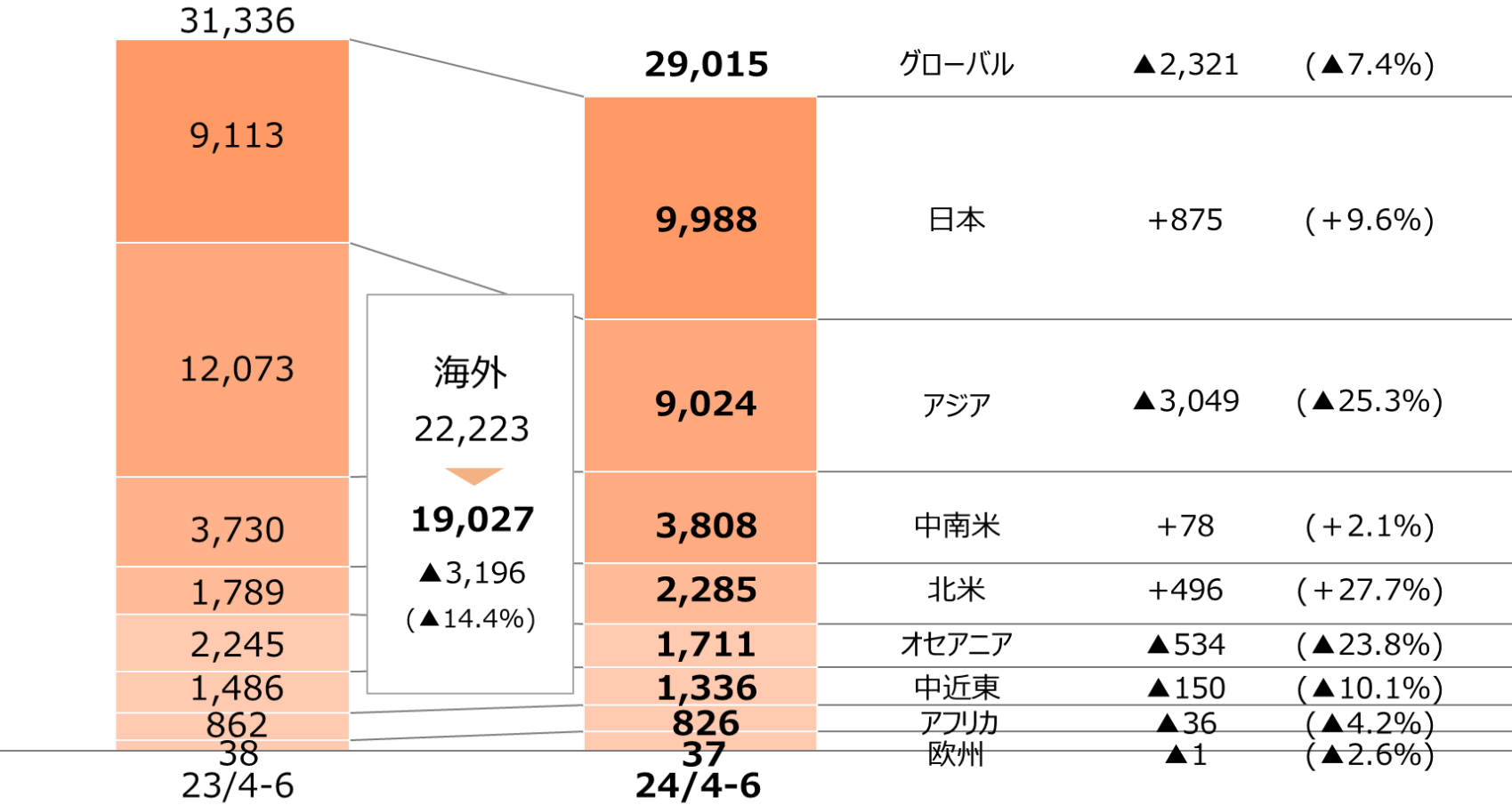
1)販売の状況

2)連結決算の状況

グローバル販売台数（地域別総台数）

- ・グローバル販売台数は 29千台、前年比 ▲2.3千台（国内 +0.9千台、海外 ▲3.2千台）
- ・海外はタイを中心とするアジア経済の鈍化により、前年比減

(単位：台)

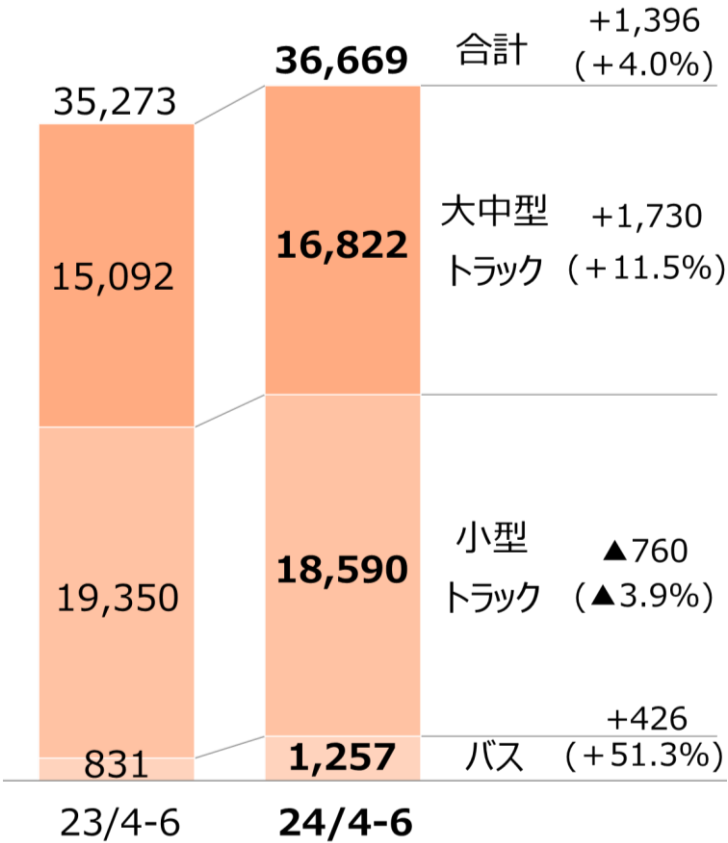


国内トラック・バス市場の状況

総需要 : 部品供給の改善等に伴う各社生産の回復により、前年比 +4%増
日野販売 : 小型トラックは供給面の問題等により減少したものの、A09Cエンジン搭載車の供給正常化に伴い大型トラックが大幅に増加したことにより、全体では+0.9千台の増

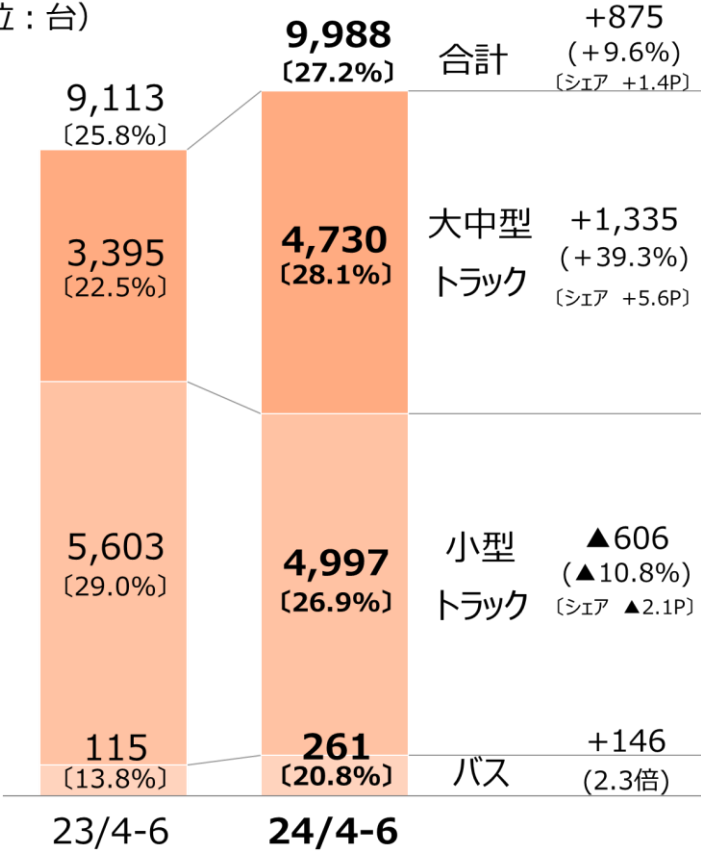
総需要

(単位：台)



日野販売〔シェア〕

〔 〕はシェア、()は対前年増減率
(単位：台)

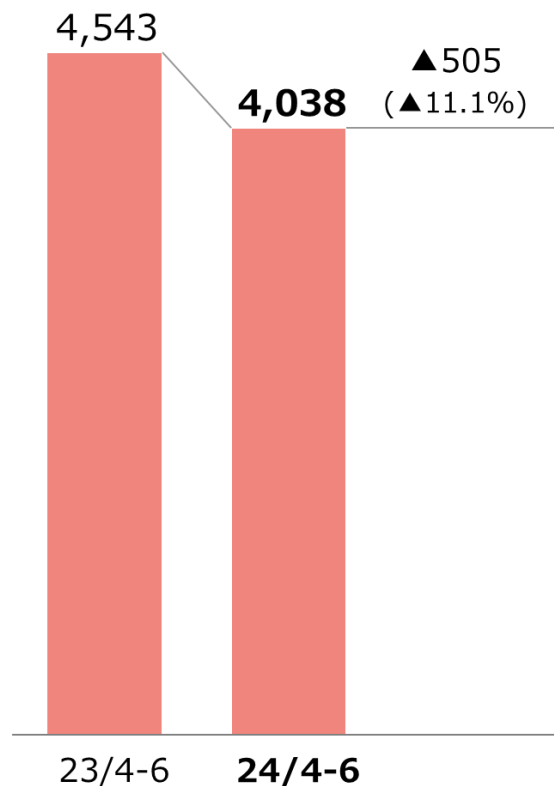


インドネシア・タイ販売台数

インドネシア：大統領選の短期終了により政治的影響は軽微も、資源価格低迷の影響により前年比減
タイ：経済の停滞およびローン審査の更なる厳格化による市場縮小の影響等を受け大幅減

インドネシア

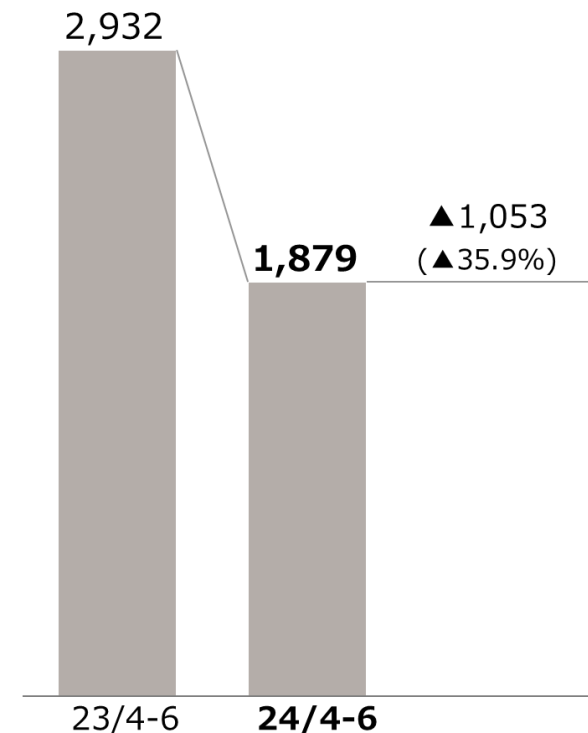
(単位：台)



タイ

(単位：台)

※当期より、登録基準で表示
(比較の便宜上、前年も同基準に見直し)

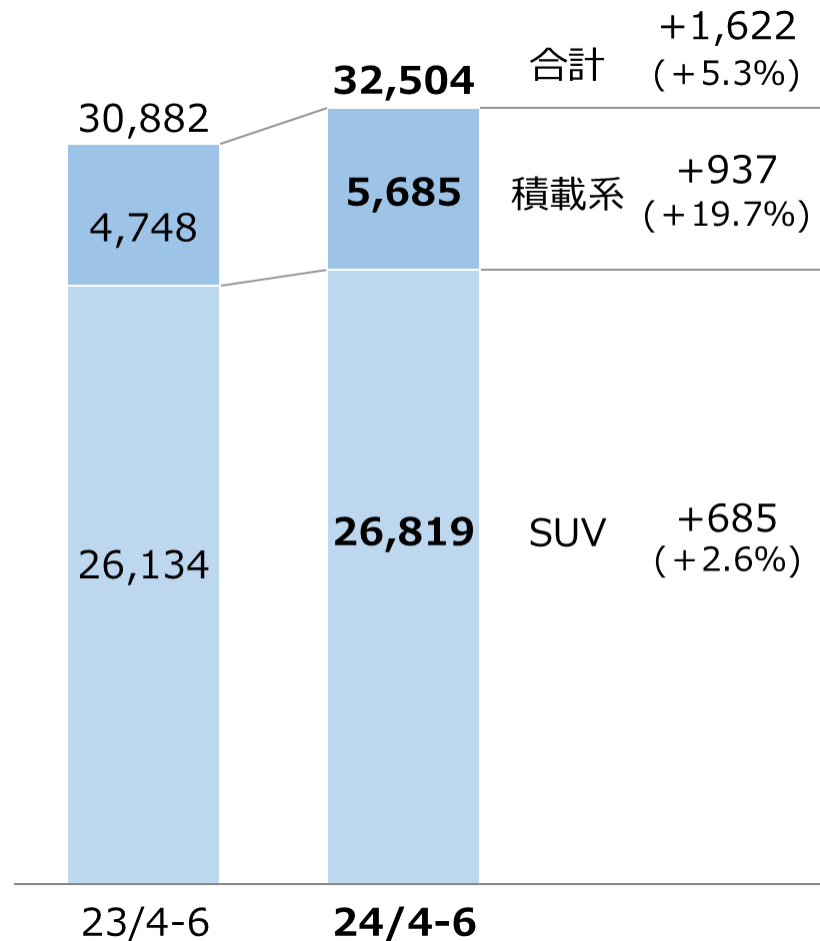


トヨタ向け車両・ユニット売上

・車両はSUV、積載系ともに前年比増加も、ユニットはタイでの需要減等により減少

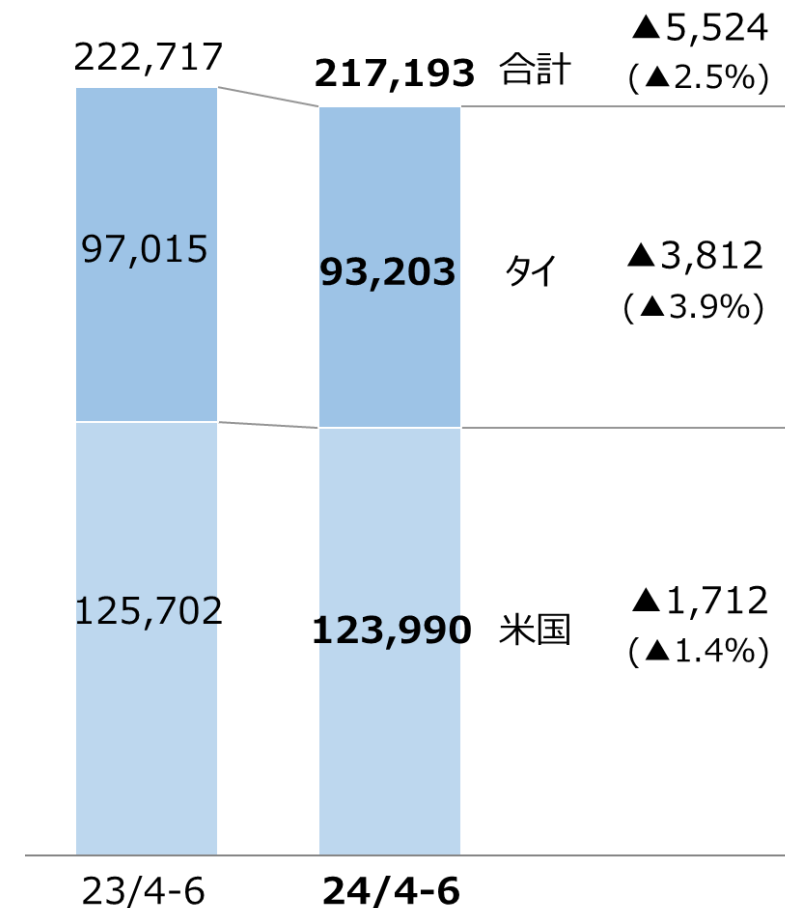
車両

(単位：台)



ユニット (タイ・米国ユニット販売)

(単位：ユニット)



1)販売の状況

2)連結決算の状況

連結損益の状況

(単位：億円)			
科目	24/4-6	23/4-6	増減
売上高	4,111	3,719	+ 392
営業利益	(1.6%) 64	(0.3%) 11	(+ 1.3p) + 53
経常利益	(1.3%) 53	(0.8%) 29	(+ 0.5p) + 24
親会社株主に帰属する 当期純損失	(▲0.1%) ▲2	(▲4.4%) ▲165	(+ 4.3p) + 163

() は、売上高利益率

■ 連結売上台数

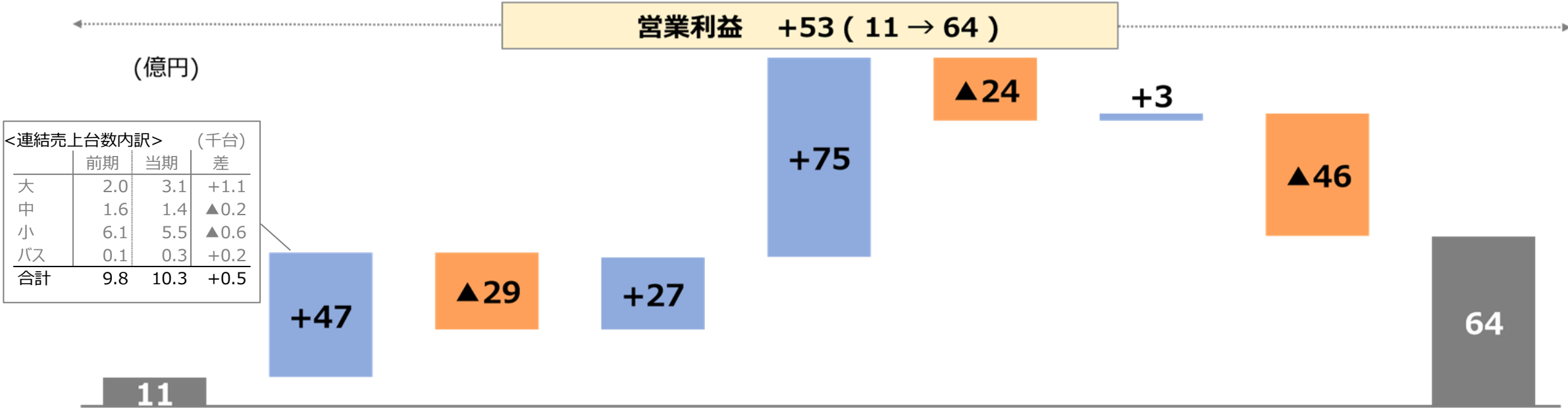
(単位：台)			
	24/4-6	23/4-6	増減
国内	10,259	9,812	+ 447
海外	21,944	24,579	▲ 2,635
トヨタ	32,504	30,882	+ 1,622

■ 為替レート

	24/4-6	23/4-6
USD	154	135
THB	4.22	3.93
IDR (100)	0.96	0.91
AUD	102	90

連結営業利益の変動要因 [対 前期実績]

・A09C車(国内大型トラック)の供給正常化およびトヨタ事業の収益増に加え、円安進行により増益

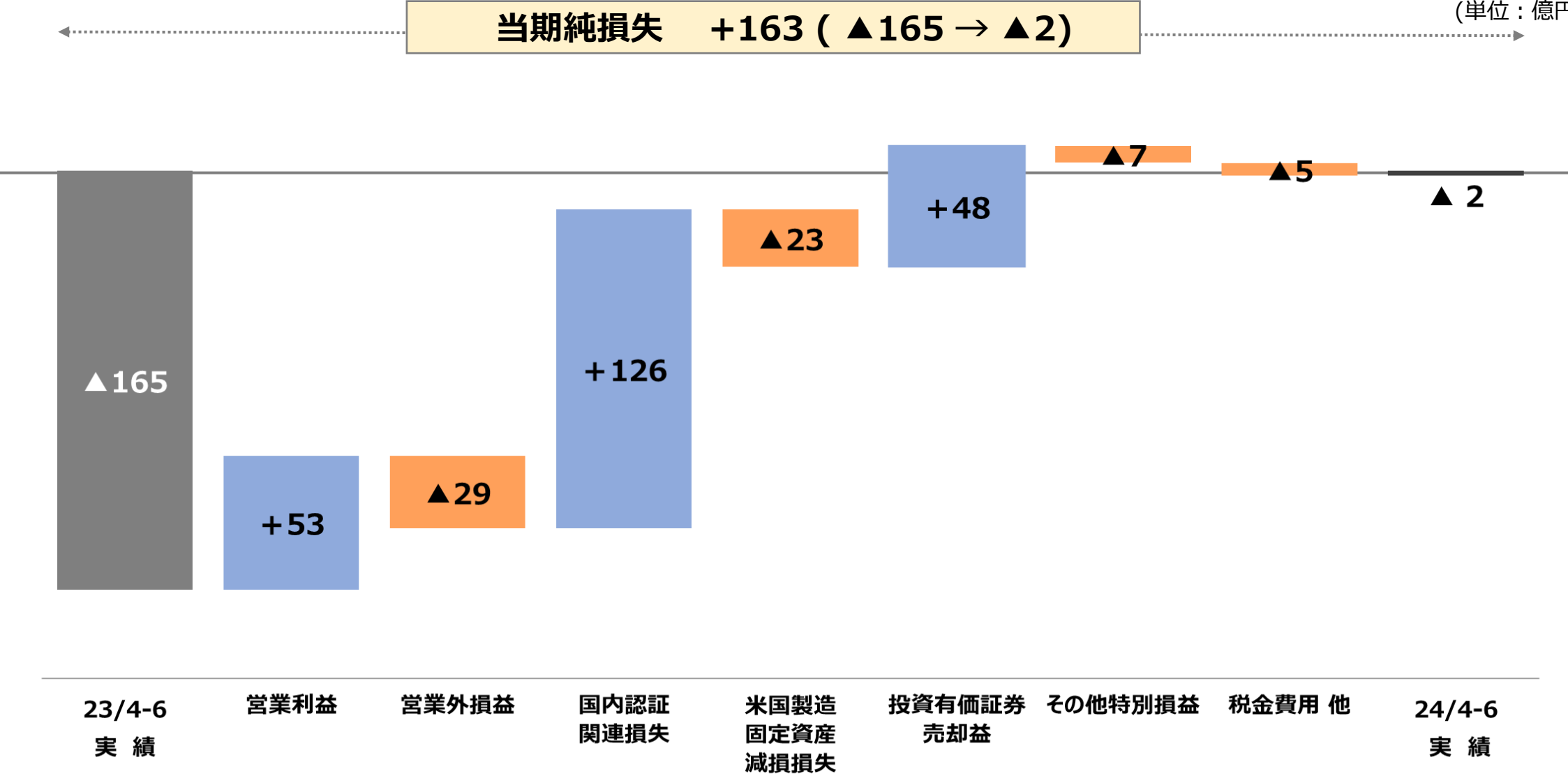


23/4-6 実績	国内		海外		トヨタ 他		為替		市況		原価改善		原価・諸経費の増減		24/4-6 実績	
	販売面の影響															環境面の変化
国内		海外		トヨタ他		為替(4月-6月)		市況		原価・諸経費の増減						
台数	+8	台数	▲73	車両	+18	USD<135 → 154>	+40	<新規>	▲2	<一時費用>	▲17	<継続費用>	▲17			
価格	+22	価格(新規/波及)	+36	海外ユニット	+3	IDR <0.91 → 0.96>	+12	材料	▲2	北米開発	▲5	開発費	▲5			
TS	+17	TS	+8	PT	▲1	THB <3.93 → 4.22>	+8	物流	▲1	日野西側/日高賃借料	▲5	減価償却費 他	▲12			
				仕入先	+7	AUD <90 → 102>	+17	IT基盤強化	+1	IT基盤強化	▲4	<原価変動>	▲12			
						TWD <4.37 → 4.79>	+8	<波及>	▲22	経営統合関連費用	▲3	稼働ロス 他	▲12			
						他	+7	材料他	▲22							
						固定費換算差	▲17									
計	+47		▲29		+27		+75		▲24							▲46



連結当期純利益の変動要因 [対 前期実績]

(単位：億円)



連結所在地別セグメント 売上高・営業利益

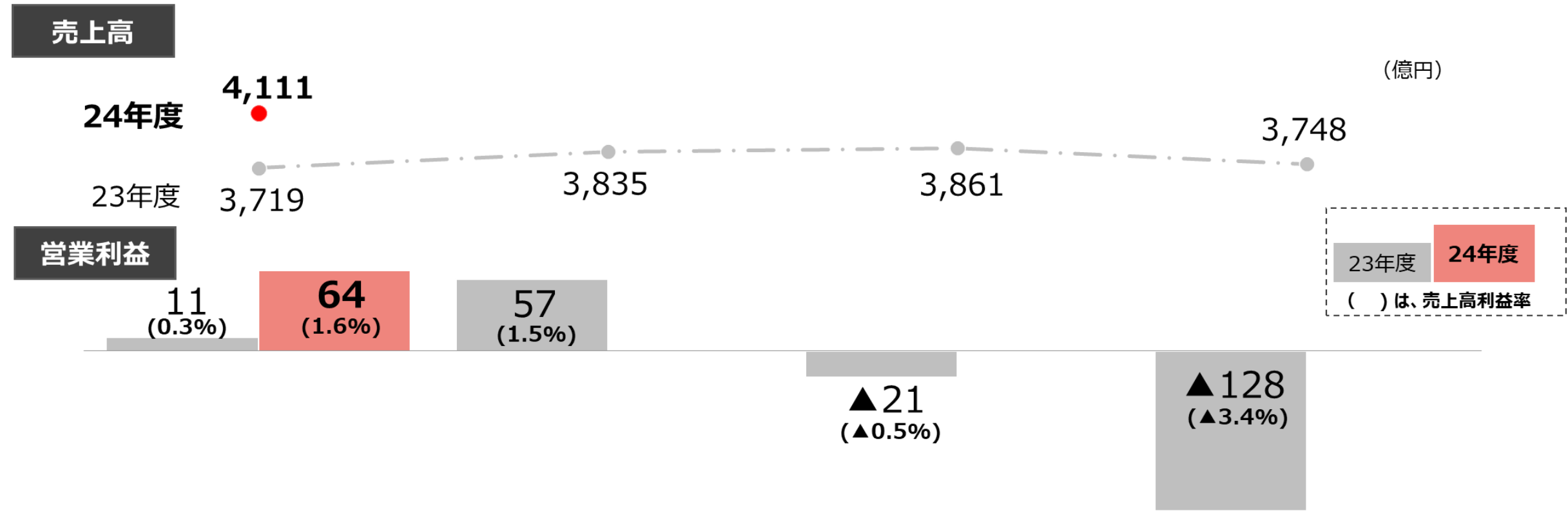
日本：A09C車の供給正常化に伴う大型トラックの台数増および為替円安により増収増益
 アジア：車両価格改善/トータルサポート収益拡大も、タイを中心とした台数減により減収減益
 その他地域：主として北米のトラック事業の台数増により増収、赤字幅縮小

(単位：億円)

	24/4-6		23/4-6		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	(1.1%) 2,859	33	(▲1.3%) 2,480	▲31	+15.3% +379	－ +64
アジア	(5.3%) 1,013	54	(8.2%) 1,149	94	▲11.8% ▲136	▲42.3% ▲40
その他地域	(▲1.1%) 846	▲9	(▲5.5%) 762	▲42	+11.0% +84	－ +33
調整	▲607	▲14	▲672	▲10	+65	▲4
計	(1.6%) 4,111	64	(0.3%) 3,719	11	+10.5% +392	5.6倍 +53

() は、売上高営業利益率 増減欄の%は、対前年増減率

連結四半期別売上高・営業利益推移



第1四半期

為替レート	23年	24年
USD	135	154

第2四半期

23年	24年
144	-

第3四半期

23年	24年
149	-

第4四半期

23年	24年
147	-



人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する



コンプライアンスを徹底し、
誠実に行動します



安全・環境にこだわり、
未来の社会を支えます
品質・プロフェッショナルにこだわり、
お客様の事業を支えます



互いを尊重し、
安全安心な職場をつくれます